

人と人がつながる地域の居場所・縁側

長後で2つの縁側事業スタート

社会情勢の変化によって地域コミュニティが希薄化し、地域のさまざまな課題への影響が懸念されている。藤沢市では昨年度、昔ながらの縁側をイメージした誰もが気軽に立ち寄れる居場所（交流スペース）づくりを支援する「地域縁側事業」をスタートさせた。市内には14カ所、長後には「長後あかり」「yell」（エール）があるが、10月

◇おしゃべり処「大福」

閑静な住宅街の一角にある杉本真由美さん（代表）の家（下土棚238）が縁側事業の拠点。交流スペースは誰もが自宅の居間にいるような気分になれる寛ぎの空間。

杉本さんは5、6年前、自宅を開放し、講師を招いて英語教室を始めた。生徒は障がいを持つ杉本さんのお子さんと富小、長中に通う特別支援学級の子ども達とその親。親しくなるうち

に親同士でのランチやお茶でストレスを発散させるようになった。また、高齢者が増えたご近所さんと頼み合う事も多くなり、暑気払いや忘年会で交流が深まっていた。

そんな日常の中で、杉本さんは障がい者や子育て中のママ達とも交流の輪を広げたいと考えるようになり、縁側事業に申し込んだ。事業立ち上げのメンバーは特別支援学級に通う子ども達の親とご近所さんで、ボ



「大福」として開放した杉本さん宅

ランテアを含めると15名になる。杉本さんは「気軽に来て、みんなが知り合いになってほしい」と話した。活動日は水曜日10～15時。問合せ 杉本（44）3509



“猿もーる夏まつり”

7月30日（土）長後商店街あい・もーる夏まつりにゆるキャラの「長後・さるてんくん」が登場。イベントの一翼を担った。さるてんくんは地域活性化を目指す「さるてん推進委員会」から今年（申年）誕生して5月の長後まつりに初お目見えしたばかり。誕生にはエピソード（架空）がある。

◇七ツ木の里

「七ツ木市民の家」は昨年30周年を迎え、記念行事には多くの地域住民が集い、楽しんだ。だが、通常の利用度は低い。市民の家を拠点として地域のつながりを続けていきたいと田場川善雄さん（代表）をはじめ10名ほどが話し合いを重ねるうちに市が募集する縁側事業を知り、申請した。

市民の家を占有した事業ではなく、「七ツ木の里」が利用者の一員として活動する。この事業に参加するボランティアは30名、活動日は火・木・金曜日を予定している。

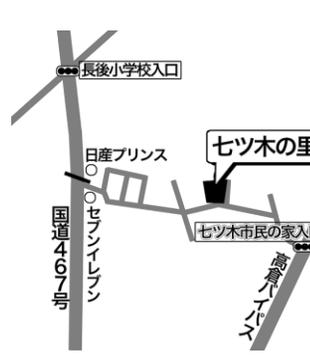
公共の施設を使って地域住民が運営する縁側事業は市内で初めてとなる。市民の家周辺は宅地開発が進み、人口増に伴い子ども達も多く、すでに老人会と子供会が一緒にする行事も多い。子ども達の放課後の居場所にもなっており、10月4日（火）の開所式に向けて活動メニュー作りなど準備中である。

地域の縁側

七ツ木の里

10月オープン

七ツ木市民の家で週3回（火曜日、木曜日、金曜日）13時～17時まで
藤沢市民の方 どなたでも 元気な笑顔だけ持って いらして下さい。



も達も多く、すでに老人会と子供会が一緒にする行事も多い。子ども達の放課後の居場所にもなっており、10月4日（火）の開所式に向けて活動メニュー作りなど準備中である。

貌で、長後のゆるキャラとして、これからのさるてんくんの活躍に期待がかかる。11月には「世界キャラクターさみつとE羽生」に参加する。



長後・さるてんくん
「応援してね！」

視覚障がい者のための卓球

鋭い打音、続くラリー

8月4日(木)、長後公民館衛生教育室でサウンドテーブルテニス開放が行われた。サウンドテーブルテニス(S.T.T.)とは視覚障がい者のための卓球。台は通常の卓球台とほぼ同じ大きさで、ネットが台の上5cm程のすき間を開けて張られている。打ち合う卓球ボールの中には小さな鉄の球が4つ入っていて、その音を聞きながらネットの下をくぐらせるようにしてボールを打ち合う。

当日の参加者は男性3人女性2人と同行支援者・ボランティアの計10人。この

競技の歴史は古く、一番のベテランの男性は10代から始めて50年以上のキャリアの持ち主。視覚障がいの程度が各々違うため、競技は全員アイマスクを着けて行う。打ち合う打球の速さ、強さは驚異的で、ラケットに球が当たってから1秒かからず到達する球を全員がほぼ正確に打ち返す。S.T.T.は公式競技で全国大会も行われる。審判は健全者(晴眼者と呼ばれる)が行うが、ルールには細かい規定があるため技術の習得には経験が必要とする。公民館の開放では主に公民



相手の打音に素早く反応

館職員が交代で行うが、職員は「審判経験のある人が参加してくださると有難い」と話す。参加者は、公民館に来てラリーが続けられるのが何より楽しく、ストレスも発散できると語る。個人競技なので誰でも気軽に参加できる。公民館では未経験者を含めより多くの人にS.T.T.を知ってもらい、参加者や同行支援者が増えてほしいと期待している。

シリーズ・街ぐるみ総活躍

競技かるたに情熱こめて



神鳥博道さん

静まり返った会場に、読み手の声が響く。「むらさめのー」と読み始める、その「む」の音が聞こえるやいなや、バンバンと凄まじい音と共に札が宙に舞う。雅な百人一首が「競技かるた」になると「畳の上の格闘技」と呼ばれる所以だ。今、競技かるたはコ

ミック「ちはやふる」ブームに沸いているが、藤沢で長年かるた愛好者を支えてきた藤沢かるた会会長が、下土棚在住の神鳥博道さんだ。かるたを始めるきっかけは妻のキク子さん。大学進学も、まず競技かるた部の有無で決めたというキク子さんがかるたに打ち込む姿を見て、初めは「百人一首なんか」と思っていたが、次第に引き込まれた。一首読まれるごとに、札が取れる音(決まり

字)が変化し、札のやり取りで札の配置が変わるなどの勝負のかけひき、一瞬の動きで相手陣の札を取る爽快感など、かるたの魅力は尽きないと言います。現在、入会希望者が殺到しているが、公民館の和室で練習するには現会員数が限界。今は入会を断らざるを得ず、大変心苦しいと話すが、事務局を一手に引き受けるキク子さんと二人三脚でかるた会を盛り立てている。

花咲く長後 夏の名所 第15回ひまわり祭 10万本 ひまわり畑に笑顔!

7月21日(日)フルーパーク長後ひまわり畑にて第15回長後ひまわり祭が開催。2日前まで開花が少なく、当初開催予定の土曜日にも雨天のため順延したが、当日は青空の下、10万本のひまわりが一気に咲き揃い、200名近くの来場者を喜ばせていた。



来場者達は黄色一色の畑に埋もれながら、撮影スポットを選んでシャッターを切ったり、腕を伸ばして摘み取って、スミックスや長後梨のサーブスを受け、たくさんの笑顔があふれた。主催の長後商店街協同組合の横山俊明さんは「今年はその後の援もい

ただ、今後は、南部の海に負けず北部の夏の名所に」と意気込む。ただ、今後は、南部の海に負けず北部の夏の名所に」と意気込む。ただ、今後は、南部の海に負けず北部の夏の名所に」と意気込む。

第39回 長後地区ふるさとまつり

「つなごう手と手 つたえようふるさとの心」

10月15日(土) 12時~16時
10月16日(日) 9時30分~15時30分
*長後小学校・富士見台小学校の鼓笛隊が長後の街を行進!
*各種模擬店、長後地区の神社のお囃子・山車もあるよ!

連絡先: 長後公民館 (46)7373

告知板

サークル会員募集

手芸を楽しむ会

日時 第1月曜日

10時~15時

場所 長後公民館

お詫びと訂正

8月号「告知板」で氏名に誤りがありました。お詫びし訂正します。

正 壺林光代
誤 壺井光代

郷土づくり推進会議

定例会のお知らせ

日時 9月16日(金)

13時30分

場所 長後市民センター2階 文化室

*傍聴自由です

編集後記

☆関東大震災から93年。たった今発生したとき、携帯やスマホが役に立たない場合もある。機械に依存して頼るよりも、人と人が互いに頼り助け合うコミュニティが真の防災に繋がる。(紀)

☆花、約束、ありがとう、さくら。CDに多いタイトル5位から2位だそう。そして第1位がひまわり。暑さに負けず、太陽に向かって花開く姿は元氣と希望を与えてくれる。(礼)

☆サウンドテーブルテニスと競技かるたを取材した。相手が打った瞬間に向きを見事にとらえて打ち返すS.T.T.。一瞬の音で札を取る競技かるた。「修練」という言葉の重さを実感した。(柚)

☆今年の夏、キーワードはオリンピックと天候異常か。半端ない暑さが続き、局地的豪雨と共に、水源地に雨が降らず取水制限もあった。子どもたちの夏はもつと穏やかだった記憶が。4年後、東京は酷暑のオリンピックを迎えるのだろうか。(谷)